

金属プレス加工



●家電・自動車・住宅建材の金属部品の製造、家庭用電気用品の組立て及び2次加工

## 藤川金属工業株式会社

▶TEL: 06-6562-4315 FAX: 06-6568-2633

▶URL: <http://www.fujikawa-metal.com>

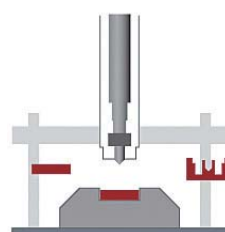


### タブレットから一回の加圧で仕上げるインパクト成形 表と裏で異なる加工、薄肉の深絞りを実現

通常11工程かかるとされる従来のプレス加工に比べ、はるかにコストと時間が削減できるインパクトプレス加工。加圧の際に、金属が型に沿って伸び上がったところを成形に利用する点が特徴。この工法により精巧さが求められる機能パーツや外観パーツを作ることができる。さらに、独自の「二重インパクト加工」(特許第4551882号 平成22年取得)により、内部パンチと外部パンチの動作に時間差を与えることで、内部に軸を作ることにも成功した。



インパクト加工による成型例。1工程で成形できて、加工スピードも早いいため、作業時間の短縮が可能。



二重インパクト加工技術のイメージ。1工程にて、塑性変形させた容器の内底面に、筒状の突起物が一体成形された容器形状部品を製作できる。



#### 事業概要と躍進の契機

いち早くインパクトプレス加工設備を導入し、家電金属部品加工に着手

昭和20年に大阪市西成区鶴見橋に創業。昭和38年にインパクトプレス工法(アルミ1工程深絞り加工)の設備を導入し、インパクトプレスによる家電金属部品の加工に着手。平成22年には、二重インパクト工法についての特許も取得し、独自の路線で金属加工に取り組んでいる。

#### 会社の強み・主力商品など

フラットな表面やシームレスなボディ。こだわりのデザインにも対応可能

シームレスで一体型のアルミスピーカーや、裏面の突起により表面をフラットに保つカードキーなど、同社が手掛けるパーツは機能性、デザイン性に優れている。様々なインパクト加工で、エッジ部分も精巧な仕上がりになっており、触れた時に感じる高級感を生んでいる。

#### 今後の事業展開

リチウムイオン電池の容器の量産化を目指して

アルミ合金製大型矩形電池ケースの量産化に向けては、経済産業局「特定研究開発等計画」認定につづき、「平成22年度戦略的基盤技術高度化支援事業」に採択を受け、産官学連携の体制にて開発に取り組んでいる。材料、金型、温度、潤滑油などによって製品の仕上がりが変わってくるなか、ユーザーの要望に合わせて、部品の形も段階的に変えていかなければならない。アスペクト比が大きくなると、新しい形状を実現するための機器設備も必要になる。こうした条件をクリアし、医療分野の開拓も視野に入れ、製品分野を広げていこうとしている。

#### ●企業プロフィール

〒557-0032 大阪府大阪市西成区旭2丁目8番9号  
代表取締役社長 藤川浩史  
設立:1945年(昭和20年)  
従業員数:70名  
資本金:2,016万

#### 企業メッセージ

プレス技術を持つ人材の育成に努めながら、日本国内での生産を重視しています。低価格、高品質を維持しながら、世界に誇れる製品を送り出していこうと考えています。



代表取締役社長 藤川浩史

#### ■用語解説

アスペクト比:2次元形状の物の縦横比。アスペクト比が大きくなるほど、細長い形状になる。